

環境学習プログラム

令和2年12月発行

令和4年6月改訂

横浜市資源循環局

SDGsについて

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2015年9月に国連サミットで採択された持続可能な開発目標です。「誰一人取り残さない」「パートナーシップ」といった理念のもと、2030年を期限とする17の目標と169のターゲットが定められました。

SDGsは将来にわたり、あらゆる人が、社会、経済、環境、全ての面での豊かさを受けられる持続可能な世界を目指しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



資料：国際連合広報センター

はじめに

近年、私たちの生活は便利になる一方で、地球温暖化やプラスチックによる海洋汚染、食品ロスなどが大きな問題となっています。2015年に国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）では、国際社会共通の目標として「持続可能な生産消費形態」などが位置付けられており、環境問題は人類共通の課題といえます。

日本においても、記録的な大雨や災害級の猛暑、暖冬など、すでに地球温暖化による気候変動の影響を受けていると考えられ、その脅威は私たちに極めて身近なものとなっています。将来に向けて持続可能な世界としていくためには、私たち一人ひとりが環境の問題を学び、行動することが不可欠です。

このたび、環境への意識の醸成を図ることを目的として、廃棄物分野における「環境学習プログラム」を策定しました。多くの人に環境学習に取り組んでいただくため、様々な世代に学んでいただける構成としています。

未来を担う子どもたちにより良い環境を残すため、教育の場や地域等において積極的にご活用いただければ幸いです。

目次

【世代に合わせた実施プログラム】

保育園・幼稚園・認定こども園 編	1
小学校 編	2
中学校・高校・大学 編	3
地域・事業者 編	4

【講座テーマ】

①食品ロス削減	5
②プラスチック対策	8
③ごみのゆくえ	10
④ごみの分別・リサイクル	12

【ご紹介】

その他、ご案内可能な項目	14
その他、環境について学べる講座のご紹介	15
災害時のトイレ対策	16
施設見学のご案内	17
お問合せ・お申込み	21

申込みから開催までの流れ

① テーマを選び内容を決める



講座テーマ（P 5～14）を参考にテーマを選んでください。各講座テーマは、基本プログラムに加えて、選択プログラムも組み合わせて受講することができます。

② 申込み



各区収集事務所（P 21）まで、Eメール、FAX、お電話のいずれかでお申込みください。

お申込みの際は、環境学習申込書（P 22）をお送りいただくか、申込書の内容をEメールの本文やお電話でお知らせいただいても結構です。

③ 打合せ



詳細について、担当者と打合せを行っていただきます。

④ 出前講座の実施

本市職員や外部講師がお伺いして、出前講座を実施します。

※ 「災害時のトイレ対策」・「当局の施設見学」・「外部施設見学」・「外部講師」（P 16～20）に関するお申込みは、環境学習申込書（P 22）は使用せず、直接、各項目の「お問合せ先」までご連絡をお願いいたします。

世代に合わせた実施プログラム

保育園・幼稚園・認定こども園 編

お話は短めに、紙芝居などを使ってわかりやすく伝えることを心掛け、子どもたちが集中して参加できるようにアクティビティなども取り入れます。

また、着ぐるみや収集車（実車）なども登場させることで、環境に関する事柄を身近に感じてもらい、日頃の生活の中で行動に移すための意識の醸成を図ります。

実施の一例



お知らせ

実施にあたっては、打合せのうえ、具体的な内容や時間割を決定します

項目	内容	備考	
講座テーマ	食品ロス削減		
所要時間	70分		
人数	20名		
スケジュール	屋内でのお話し	「食品ロスってなあに？」	10分程度
	紙芝居	おひさまトマトのトマゴロウ (WWF・横浜市共同制作)	20分程度
	屋外での体験	生ごみの堆肥化「土壌混合法」を 実践してみよう	30分程度
	まとめ	質疑応答など	10分程度

・「プラスチック対策」や「ごみのゆくえ」など、他の講座にもお申し込みいただけます。



紙芝居



イーオやミーオが登場するかも？

世代に合わせた実施プログラム

小学校 編

環境問題に関する基礎的な知識を身につけるとともに、その解決に必要な行動を自らが考えるきっかけとします。そして、持続可能な社会づくりに向けた姿勢、感性、優しさや思いやりなど、環境に配慮できる意識の醸成を図り、日常生活での行動につなげます。

実施の一例



おしらせ

実施にあたっては、打合せのうえ、具体的な内容や時間割を決定します

項目	内容	備考
講座テーマ	ごみのゆくえ ごみの分別・リサイクル	
所要時間	90分	
人数	35名	
スケジュール	教室での講義	ごみの収集と処理のながれ 30分程度
	クイズ	資源のリサイクル 「ごみの分別にチャレンジ」 20分程度
	屋外での体験	収集車の仕組みを知ろう ごみの積み込み体験 30分程度
	まとめ	質疑応答など 10分程度

・「食品ロス削減」や「プラスチック対策」など、他の講座にもお申し込みいただけます。



教室での講義



収集車の説明

世代に合わせた実施プログラム

中学校・高校・大学 編

基礎的な知識や正しい情報を着実に獲得します。また、対話や議論を通じて互いの多様な考え方の共通点や相違点を理解しながら、環境が抱える課題と向き合い、自らが解決に向けた行動をとるためのきっかけとします。

実施の一例



おしらせ

実施にあたっては、打合せのうえ、具体的な内容や時間割を決定します

項目	内容	備考	
講座テーマ	プラスチック対策		
所要時間	80分		
人数	20名		
スケジュール	講義 1	よこはまプラスチック 資源循環アクションプログラム	15分程度
	講義 2 (動画あり)	横浜の海とプラスチック	25分程度
	ワークショップ	4～6名のグループに分かれ、テーマに沿ってディスカッション	30分程度
	まとめ	感想、意見など振り返り	10分程度

・「食品ロス削減」や「ごみのゆくえ」など、他の講座にもお申し込みいただけます。



川岸のプラスチックごみ
提供：公益財団法人かながわ海岸美化財団



ワークショップの様子

世代に合わせた実施プログラム

地域・事業者 編

ごみの未分別や集積場所の維持管理は、地域での悩みとなっているケースがあり、市民一人ひとりが環境や街の美化に関して意識を持って行動することが重要です。そうしたことを学んでいただくため、自治会町内会の会合や住民説明会等でご活用ください。

※ 環境に関する学びの場ですので、要望等を受け付ける場ではありません。



お知らせ

実施にあたっては、打合せのうえ、具体的な内容や時間割を決定します

項目	内容	備考	
講座テーマ	ごみの分別・リサイクル プラスチック対策		
所要時間	60分		
人数	20名		
スケジュール	講義 1	・ごみの分別 ・資源のリサイクル	15分程度
	講義 2 (動画あり)	プラスチック対策 ～海洋汚染と街の美化～	15分程度
	意見交換	ごみや街の美化に関する地域事情等について座談会形式で意見交換	25分程度
	まとめ	感想、意見など振り返り	5分程度

・「食品ロス削減」や「ごみのゆくえ」など、他の講座にもお申し込みいただけます。



住民説明会の様子



不法投棄が問題となっている地域の様子

講座テーマ

食品ロス削減



学びのポイント

- 食品ロスの定義や現状、環境に及ぼす影響、課題を学ぶ。
- 課題解決に向けて何が必要か、どんな取組を行っているかを学ぶ。
- 一人ひとりができることを学び考え、行動につなげる。

食品ロスに関する環境学習の視点【消費者教育・世界の食料事情】

食品ロスとは、本来食べられるにもかかわらず、食べ残しや期限切れなどの理由により廃棄される食品のことです。食品は、生産・流通・廃棄それぞれの過程でエネルギーを使用し、温室効果ガスを排出しています。食品ロスは「もったいない」だけでなく、地球温暖化の一因となっています。

2030年に向けて、食品ロス削減は、SDGs(持続可能な開発目標)にも位置付けられています。世界的課題として取組が進められている食品ロス削減について、環境、食育、地産地消、飢餓、貧困、福祉などの視点から考えることにより、持続可能な社会の担い手の育成につなげます。

横浜市の家庭では、食品ロスにより1人あたり**19,000円/年**を損失している。(2020年度推計)

横浜市家庭からは、年間約9万3千トンの食品ロスが発生しています。

世界では毎年、生産された食料の**1/3**が捨てられている

日本では賞味期限切れ、食べ残し、売れ残りなどで食品ロスが発生しています。

世界の10人に1人が栄養不足

世界では、すべての人が十分に食べられるだけの食料が生産されているにもかかわらず、約8億1,100万人が慢性的な栄養不足です。

(世界の食料安全保障と栄養の現状：2021年版)

食品ロスは**地球温暖化**の原因になる

捨てられてしまう食品も生産・流通・廃棄の際に二酸化炭素を出しています。地球温暖化が進むと、気温の上昇や異常気象により農作物の生育に影響を及ぼします。食品の値上がりも心配ですね。

日本では食料の**約6割**を海外からの輸入に頼っている(カロリーベース)

現在76億人の世界人口は、2030年までに86億人に達するといわれています。私たちの食への影響も気になりますね。

基本プログラム

食品ロスの現状、基礎を理解する

食品ロスの定義、食品ロスの現状、食品の生産から廃棄までの過程や消費期限と賞味期限の違いなどの学習を通じて、食品ロスが及ぼす影響や食品ロスを出さない生活習慣を学びます。また、日本の食料自給率や世界の食料事情など、日本と世界の現状を学び、自分たちができることを考えます。



選択プログラム

① 生ごみの堆肥化と栽培を通じた食の循環体験学習【食育、地産地消の視点】

「生ごみの堆肥化→苗植え→野菜等の栽培→収穫→食べる」という「食の循環」を体験することで、野菜の成長、作る喜び、野菜の美味しさなどを感じながら、「食の大切さ」を学ぶことにつながります。

- ・堆肥化の講義のほか、年間を通じた長期の講座とし、時期ごとに実地で学ぶこともできます。
- ・必要器材(生ごみ処理器やプランター)貸出しもできます。

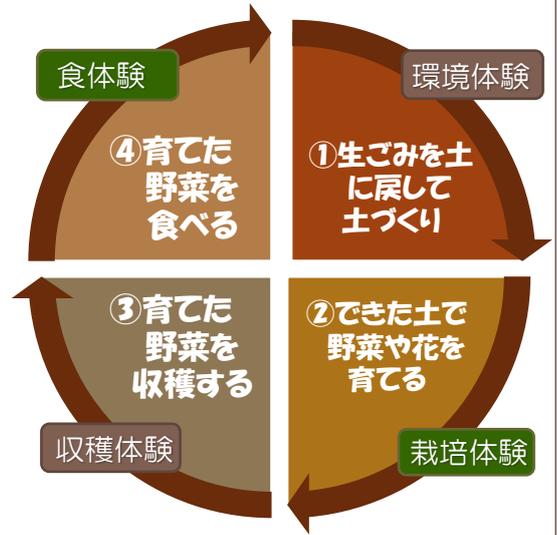


生ごみ処理器(キエーロ)



へら星人「ミーオ」

ヨコハマ3R夢(スリム)！
マスコット「イーオ」

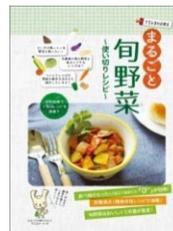


食に関する循環の体験

② 食材を無駄にしない調理や保存に関する学習【調理・保存の工夫の視点】

資源循環局作成「まるごと旬野菜～使い切りレシピ～」では、食材を無駄にしない調理方法や保存方法、野菜の旬などを紹介しています。使い切りレシピを使った授業での調理や冷蔵庫収納、ローリングストックの講義などにより、食品ロスを出さない調理や保存の工夫を学ぶことができます。

- ・「まるごと旬野菜～使い切りレシピ～」では、捨ててしまいがちな野菜の皮や芯も全て使う調理法を提案しています。また、簡単時短、冷蔵庫の残り野菜を使ったレシピやリメイクレシピもご紹介します。



まるごと旬野菜～使い切りレシピ～

- ・「冷蔵庫収納」講座では、食品ロスを出さないために冷蔵庫を上手に整理整頓する方法をご紹介します。冷蔵庫を快適に効率よく使用でき、食品ロスを出さない方法について学ぶことができます。



冷蔵庫整理術の講演

※外部講師は有料の場合があります。

- ・「ローリングストック」は、期限切れによる食品ロスを出すことなく、防災に備えることができる方法です。講座では、ローリングストックの利点やご家庭で簡単に実践できる方法について学ぶことができます。



選択プログラム

③ 社会や企業等の取組【社会情勢への視点】

小売業や製造業など食品に関わる企業では様々な食品ロス削減に向けた取組が行われています。

フードバンク・フードドライブ活動やフードシェアリング※、「食品ロスの削減の推進に関する法律」(令和元年10月1日施行)など、食品ロス削減を目指した社会の動向や情勢について学びます。



- ※・フードバンク・・・各家庭や食品を取り扱う企業から、まだ食べられるのに廃棄されてしまう食品を引き取り、福祉施設などへ無償で提供する団体・活動
- ・フードドライブ・・・各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンク団体や地域の福祉施設などに寄贈する活動（「ドライブ」とは「寄附」を意味します）
- ・フードシェアリング・・・何もなければ廃棄されてしまう商品を消費者のニーズとマッチングさせることで食品ロスの発生や無駄を減らす仕組み

食品ロスに関する動画の紹介

横浜市では、食品ロス削減に関する動画を作成しております。動画をご覧になった皆さまが、食品ロス削減を自分事として捉え、取り組むことをご提案しています。

ウェブサイト <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/gomi-recycle/gakushu/default20200.html>

まるごと旬野菜～使い切りレシピ～

- ◆野菜をまるごと使うレシピを紹介しています。
- ◆野菜の特徴や保存方法、リメイクのアイデアをご紹介し、おいしい料理を楽しみながら、食品ロス削減にも取り組める内容としています。
- ◆2分程度の映像で素早く理解できます



減らそう！食べ物の「もったいない」



減らそう！食べ物の「もったいない」

- ◆横浜市の食品ロスの現状を説明しています。
- ◆食品ロスを減らすために、ご家庭で出来る具体的な取組をご提案しています。
- ◆3分程度の映像で素早く理解できます

食品ロスで地球が減びる？～食べ残し大魔王に打ち勝つ方法を考えよう！～

- ◆小学生向けに、横浜市の食品ロス問題を説明しています。
- ◆食品ロスを減らすために、自分に何ができるのか考えることを促す内容としています。
- ◆4分半程度の映像で素早く理解できます。

食品ロスで地球が減びる？～食べ残し大魔王に打ち勝つ方法を考えよう！～





学びのポイント

- プラスチックごみが引き起こす環境汚染の現状を学ぶ。
- 課題解決に向けて何が必要か、どんな取組を行っているかを学ぶ。
- 一人ひとりができることを学び考え、行動につなげる。



プラスチックごみ問題に関する環境学習の視点

プラスチックは軽量で丈夫、加工もしやすいことから、さまざまな製品や容器包装に幅広く利用されています。一方で、その優れた耐久性、安定性により、プラスチックは、自然界では分解されにくいという特徴があります。ひとたび自然界に流出すると、河川を通じて海にたどり着き、海洋汚染につながっています。このまま、何も対策を講じなければ、2050年には魚の重量を上回るプラスチックが、海洋環境に流出するとの予測もあります。また、プラスチックの焼却により、温室効果ガスが多く発生し、地球温暖化の一因にもなっています。

世界的な課題となっているプラスチックごみ問題の解決のため、「資源循環」「海洋流出対策」「連携協働」の視点から学びます。

- ・ワンウェイプラスチック[※]の削減、プラスチックの分別・リサイクルのさらなる推進に加え、再生材や代替素材の利用を促進するなど、資源循環の取組。
- ・プラスチックが海洋に流出することがないような対策の推進。
- ・「資源循環」や「海洋流出対策」の取組を加速していくため、市民・事業者・行政の連携協働。

※ワンウェイプラスチック：レジ袋やストロー等使い捨てとなるプラスチック



海外のプラスチックごみの状況(環境省)

基本プログラム

プラスチックごみ問題の基礎を理解する

プラスチックによる海洋汚染の現状や、プラスチックごみの燃焼による地球温暖化について学ぶことで、課題を自分のものとして捉えてもらいます。そのうえで、そうした課題を解決していくために、使い捨てプラスチックの削減など、具体的に、自分たちにできることを考えます。



打ち上げられたクジラの子ども

選択プログラム

① 社会におけるプラスチック【環境問題の学びの視点、消費者意識向上の視点】

プラスチックは軽量で丈夫、成型しやすいことから、第二次世界大戦後に急速に普及し、今や生活になくてはならないものとなっています。こうしたプラスチックの特性や世界で使われている現状、さらにレジ袋やペットボトルなどの身近なプラスチックの事例やデータを紹介しながら、環境汚染との関わりについて学び、日常生活におけるプラスチックとの上手な付き合い方を考えます。



川岸のプラスチックごみ

提供：公益財団法人かながわ海岸美化財団

② マイクロプラスチック【環境問題の学びの視点】

マイクロプラスチックとは、海に流出したプラスチックが波や紫外線の影響で細くなったもの、または洗顔料などに含まれているマイクロビーズなど、微細な5mm以下のプラスチックの総称です。有害物質を吸着しやすいというプラスチックの性質から、健康への悪影響も懸念されています。

このマイクロプラスチックについて学びを深めます。



水面を漂うプラスチックごみ

③ プラスチックをめぐる企業等の取組【消費者意識向上の視点】

プラスチックごみ問題に取り組む企業などの事例を学びます。2020年7月からレジ袋が有料化された狙いや、それに先立ってプラスチック製の袋を廃止した小売業者、紙やバイオマスなどの代替素材を使った製品を作っている企業の取組などを通じて、自分たちの身近で取り組めることを考えます。



間伐材で作った木のストロー

(ヨコハマSDGsデザインセンター)

講座テーマ

ごみのゆくえ

しゅうしゅうしゃ
収集車って
なん
何kg まで
はい
ごみが入るの？

ぶんべつ
分別しても、
さいご も
最後は燃やして
ほんとう
しまうって本当？



がっこう
学校には
よこはまし しゅうしゅうしゃ
横浜市の収集車が
こ
来ないのはなぜ？

しょうきやくこうじょう
焼却工場で
も あと
ごみを燃やした後は
どうするの？

しゅうせきばしょ ほか
集積場所の他に
しげんぶつ
ごみや資源物を
も こ ばしょ
持ち込める場所は
ないの？

しょうきやくこうじょう となり
焼却工場の隣に
おんすい
温水プールが
あるのはなぜ？



かん
缶・びん
ペットボトル
おな ふくろ い
同じ袋に入れて
いいのはなぜ？

基本プログラム

そんな疑問にお答えします。。

廃棄物処理の流れを理解する

集積場所から集められたごみや資源物がどのように処理されているのかを理解することにより、市民一人ひとりが「廃棄物を適正に処理する仕組み」の出発点であり、その担う役割が大きいことを学びます。

また、リサイクルの工程やごみの最終処分の様子を知ること、「なぜ分別しなければならないのか？」「なぜごみを減らさなければならないのか？」を理解します。

選択プログラム

① 収集作業の1日【勤労観・職業観育成の視点】

聞いて
みよう

収集職員が1日の作業の様子を説明します。

実際に使用している収集地図の紹介や「1日何kgのごみを集めるのか?」「1日何か所の集積場所を回るのか?」などの話を聞くことで、収集作業の様子を捉えてもらうとともに「もしごみの収集が止まってしまったら?」を考え、廃棄物処理事業が果たしている役割を学びます。



② 収集車を見る・触れる【身のまわりの仕事に関する学びの視点】

触れて
みよう

本物の収集車を使って、収集車の仕組みや収集作業の手順を説明します。

ごみの積み込み作業やボタン操作の体験、収集車がごみを排出する動作の見学などを通じて収集作業への関心を高めます。



③ 資源選別センターや焼却工場等の仕組み【リサイクル資源供給者の視点】

見て
みよう

集められたごみや資源物が、資源選別センターや焼却工場でどのように処理されているのかを、ビデオなどを通じて詳しく学びます。

また、資源選別センターや焼却工場の処理工程を理解することで、「なぜごみや資源物の出し方に細かいルールが決められているのか?」の理解につなげます。



講座テーマ

ごみの分別・リサイクル



学びのポイント

- ごみの分別に関する現状、必要性、課題を学ぶ。
- ごみの分別徹底のため、横浜市が行っている取組を知る。
- 一人ひとりができることを考え、行動につなげる。



南本牧第5ブロック最終処分場

ごみの分別・リサイクルに関する環境学習の視点

ごみ処理による温室効果ガス総排出量のうち、約9割が焼却工場でごみを焼却することで排出されます。そのうちの約8割はプラスチック類の焼却によるものです。したがって、温室効果ガスの削減のためにはプラスチック製容器包装の分別が重要ですが、まだ「燃やすごみ」の中に多くのプラスチック製容器包装が含まれています。排出されるプラスチック製容器包装の約34%が分別されずに燃やされています。

また、横浜市唯一の一般廃棄物最終処分場(南本牧第5ブロック最終処分場)を長く大切に使うためにも、ごみの分別を徹底することが必要です。

ごみの減量化・資源化を進め、ごみを適正に処理し、より快適な生活環境をつくっていくため、資源物の分別の徹底や適切なごみの出し方、集積場所の清潔保持など、協力いただきたいいろいろなことについて学びます。

基本プログラム

横浜市の分別ルールを理解する

横浜市では効率的な資源化を目的として、15種類の品目について10種類の分別で排出することを定めています。

資源物を適切にリサイクルするためには、各家庭でごみと資源物をきちんと分別していただく必要がありますが、まだ多くの資源物が燃やすごみの中に混入しています。

そこで、特に混入することの多い「プラスチック製容器包装」と「古紙」を中心に、横浜市の分別ルールについて説明します。

また、正しく分別することが地球環境の保全につながることをお伝えし、分別意識の向上を図ります。



選択プログラム



① 実際に分別してみよう(分別ゲーム)【家庭における実践の視点】

- ① 実際のごみの見本を手にとって分別します。
たくさん用意された ごみの見本(間違いやすいものも含む)の中から分別を体験します。
- ② 分別が終わったら答え合わせです。
間違ってしまった品目を中心に、「分け方」を説明するだけでなく「なぜ、このように分ける必要があるのか」をお伝えし、分別ルールをしっかりと学びます。



② 分別徹底のための取組【市民意識向上の視点】

横浜市では市民・事業者ともに、ごみを出すときには、決められた分別区分や排出方法に従うことが、条例により義務付けられています。

分別されていないごみ袋については、啓発用シールを貼って取り残し、ごみを出した人に注意を呼びかけています。

また、分別されていないごみ袋を本市職員が開封調査し、繰り返し指導などを行っても分別しない市民・事業者に対して罰則(過料 2,000 円)を科す制度を実施しています。

それらの取組をご紹介することで、一人ひとりの分別意識の向上を図ります。

③ グループワーク「自分たちにできること」【環境問題への市民参加の視点】

地域の生活環境の維持・向上には廃棄物を適正に処理する事が不可欠であり、適正な処理が地球環境保全へとつながります。

「正しいごみ出し」という身近に実践できる環境保全活動に関して、自分たちにできることは何か、またその行動はどのような未来につながるのかを考えます。





その他、ご案内可能な項目



(環境学習の際に、合わせてご案内することができます)

ごみ集積場所の設置・移動の手続きについて

ごみ集積場所を新しく設置する場合、既存の集積場所を移動する場合などの手続きについてご案内します。また、集積場所の設置基準など、地域で集積場所を管理する際に参考となる情報をご紹介します。



ごみ出し支援制度のご紹介

横浜市では、ごみ出しが困難なひとり暮らしの高齢者などへの支援として、ふれあい収集※¹ や粗大ごみ持ち出し収集※² を行っています。制度の内容やお申込み方法などについてご案内します。

- ※¹・ふれあい収集・・・対象者宅の敷地内や玄関先から家庭ごみを収集。
- ※²・粗大ごみ持ち出し収集・・・対象者宅の敷地内または屋内に入って粗大ごみを収集。



集積場所の維持管理について

「地域外からごみを持ち込まれる」・「分別されていないごみを取り残された」・「すぐに不法投棄される」など、集積場所の維持管理における困りごとについて、対応策や改善事例をご紹介します。





その他、環境について 学べる講座・取組のご紹介



横浜市環境教育出前講座(環境創造局、温暖化対策統括本部)

生物多様性保全や地球温暖化対策といった環境問題への理解を深めるため、市内の小中学校や地域の皆様を対象に、市民団体、企業、国際機関、市役所など専門知識を持った講師が講義を行う「環境教育出前講座」を実施しています。

生きもの・自然(水・みどり)・エネルギー、くらし・資源の循環・農業の分野ごとに講座をご用意しています。詳しい講座の内容やお申込み方法は、ホームページをご覧ください。

ウェブサイト

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyohozen/kankyo_kyoiku/demae/demae.html



公益財団法人横浜市資源循環公社の取組

缶・びん・ペットボトル選別施設や最終処分場などの運営を行っています。小学校の社会科見学をはじめとした施設見学の受入れに加え、出前講座も実施しています。出前講座では、ペットボトルのリサイクル実験など楽しく学べる講座を実施しています。詳しい講座の内容やお申込み方法はホームページをご覧ください。

ウェブサイト

<https://www.shigenkousha.or.jp/news/detail.html?1649114855>



自然や環境について、幅広く学べるよ！



SDGs 達成に向けて、考え行動するきっかけづくりにおススメ！



災害時のトイレ対策



大地震が起これると、上下水道管が壊れてしまい
水洗トイレが使用できなくなる可能性があります…

災害時のトイレについて

横浜市では災害時の備えとして、ご家庭で飲料水と食料品の備蓄のほか、トイレパックの備蓄をお願いしています。

資源循環局北部事務所では、トイレパックの使い方と備えについて、自治会町内会など各団体への説明会、学校向け出前教室を行っています。

また、防災等イベントにおいて、トイレパック備蓄の普及啓発を行っています。

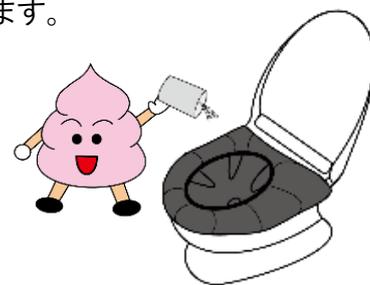
説明会実施曜日：月曜日～土曜日（祝日含む）

※所要時間は内容により20分～1時間程度

【お問合せ先】

資源循環局北部事務所（電話：045-953-0941）

（FAX：045-953-0942）



トイレパックは、一人あたり最低 15 個程度（1日5個×3日分）の備蓄をしましょう！

地域説明会



学校出前教室



防災イベント



バキュームカーの展示

備蓄仮設トイレの展示



北部事務所キャラクター
「トイレくん」



災害時のトイレは大丈夫？

資源循環局 北部事務所





施設見学のご案内

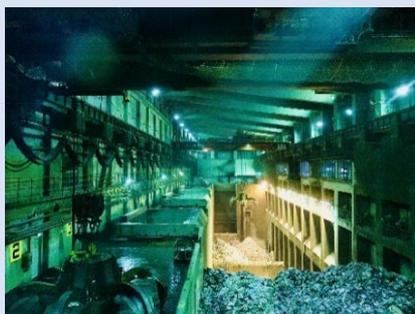


3R夢の取組を理解していただくため、焼却工場などの見学会を実施しています。是非、ご利用ください。

焼却工場

横浜市では、現在、4つの工場が稼働しており、市内から出される燃やすごみの全量を安全かつ効率的に焼却処理しています。

●焼却工場は事前にお申し込みいただければ見学することができます。以下の工場へ直接お問い合わせください。



資源循環局鶴見工場

所在地 鶴見区末広町1-15-1
お問合せ先 電話:045-521-2191 FAX:045-521-2193
ウェブページ <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/gomi-recycle/shokai/shokyaku/kojo-tsur/>

資源循環局旭工場

所在地 旭区白根2-8-1
お問合せ先 電話:045-953-4851 FAX:045-953-4852
ウェブページ <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/gomi-recycle/shokai/shokyaku/kojo-as/>

資源循環局金沢工場

所在地 金沢区幸浦2-7-1
お問合せ先 電話:045-784-9711 FAX:045-784-9714
ウェブページ <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/gomi-recycle/shokai/shokyaku/kojo-ka/>

資源循環局都筑工場

所在地 都筑区平台27-1
お問合せ先 都筑工場 電話:045-941-7911 FAX:045-941-7912
ウェブページ <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/gomi-recycle/shokai/shokyaku/kojo-tsuz/>

資源選別センター

横浜市では、缶・びん・ペットボトルの分別収集を実施しています。

資源選別センターでは、缶(スチール缶・アルミ缶)、びん(無色・茶色・その他)、ペットボトルに選別し、資源として再利用するための処理を行っています。

- 資源選別センターは事前にお申し込みいただければ見学することができます。以下のセンターへ直接お問い合わせください。

お問合せ先

緑資源選別センター 電話:045-935-0098 / FAX:045-933-9161
戸塚資源選別センター 電話:045-813-7174 / FAX:045-813-8483
鶴見資源化センター 電話:045-503-0091 / FAX:045-503-0160
金沢資源選別センター 電話:045-785-6802 / FAX:045-785-6829



南本牧廃棄物最終処分場



【南本牧廃棄物最終処分場の見学内容】(要事前予約)

- 南本牧最終処分場のあらまし
- 廃棄物の受入れから処分までの流れ
- 施設の案内

※約 45 分～1時間の内容となります。

※少人数の場合は、管理事務所内会議室で、
バスでご来場の方には車内にて説明します。

お問合せ先

南本牧廃棄物最終処分場管理事務所
電話:045-625-9647
FAX:045-625-9648



南本牧第5ブロック廃棄物最終処分場は、横浜市唯一の一般廃棄物最終処分場です。

スリム 3R夢啓発施設

ごみや環境問題について、より一層の関心をもっていただけるような情報を提供するため、楽しく学べる体験施設を開設しています。

スリム 3R夢ひろば金沢



焼却炉にごみを投入するための装置の実物大模型

スリム 3R夢ひろば鶴見



焼却炉停止中に焼却炉内で整備する際の防護服を展示

スリム 3R夢ひろば鶴見

所在地 鶴見区末広町1-15-1(資源循環局鶴見工場内)
開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
休館日 毎週日曜日、祝日、鶴見工場全炉点検期間、年末年始(12月28日～1月4日)
お問合せ先 鶴見工場 電話:045-521-2191 FAX:045-521-2193
ウェブページ <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/gomi-recycle/shokai/shokyaku/kojo-tsur/tsurukou-hiroba.html>

スリム 3R夢ひろばあさひ

所在地 旭区白根2-8-1(資源循環局旭工場内)
開館時間 午前9時～12時、午後1時～4時
休館日 毎週日曜日、祝日、旭工場全炉点検期間、年末年始(12月28日～1月4日)
お問合せ先 旭工場 電話:045-953-4851 FAX:045-953-4852
ウェブページ <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/gomi-recycle/shokai/shokyaku/kojo-as/3rmhiroba.html>

スリム 3R夢ひろば金沢

所在地 金沢区幸浦2-7-1(資源循環局金沢工場内)
開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
休館日 毎週日曜日、祝日、金沢工場全炉点検期間、年末年始(12月28日～1月4日)
お問合せ先 金沢工場 電話:045-784-9711 FAX:045-784-9714
ウェブページ <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/gomi-recycle/shokai/shokyaku/kojo-ka/14slim-hiroba.html>

スリム 3R夢ひろばつづき

所在地 都筑区平台27-1(資源循環局都筑工場内)
開館時間 午前9時～12時、午後1時～4時30分(入館は午後4時まで)
休館日 毎週日曜日、祝日、都筑工場全炉点検期間、年末年始(12月28日～1月4日)
お問合せ先 都筑工場 電話:045-941-7911 FAX:045-941-7912
ウェブページ <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/gomi-recycle/shokai/shokyaku/kojo-tsuz/3rmhiroba.html>



プレパークさかえ



“見て”“学んで”“さわって”“楽しんで”
「プレパーク・さかえ」で充実したひとときを過ごして
下さい。

遊んで♪学んで！都筑^{スリム}3R夢教室



小さなお子様から大人までが、楽しんで学べるよう、
さまざまな工夫をこらしました。

プレパークさかえ

所在地 栄区上郷町1570-1
開館時間 午前9時～12時、午後1時～4時
休館日 毎週日曜日、年末年始(1か月程度)
お問合せ先 栄事務所 電話:045-891-9200 FAX:045-893-7641
ウェブページ <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/gomi-recycle/shokai/jimusho/sakae/info/purepaku.html>

遊んで♪学んで！都筑^{スリム}3R夢教室

所在地 都筑区平台27-2
開館時間 午前9時～11時30分、午後1時30分～4時
休館日 毎週日曜日、年末年始(併設のセンターリサイクル受入休止期間と同じ)
お問合せ先 都筑事務所 電話:045-941-7914 FAX:045-941-8409

外部施設見学・外部講師について

横浜市資源循環局では外部施設の見学会や外部講師による講演会などを多数実施してきました。

ご希望・ご予定に応じて、過去に見学した外部の施設や講演を依頼した講師をご紹介します。

詳しくは、下記お問合せ先までご相談ください。

※見学科や講演料が必要な場合があります。ご了承ください。

お問合せ先

横浜市資源循環局3R推進課 電話:045-671-3593 / FAX:045-550-3510





お問い合わせ・お申込み



環境学習(5～14 ページ)の実施に関するお問い合わせ・お申込み

授業や講座を実施する区の資源循環局収集事務所にご連絡ください。
(月～土 午前8時～午後4時45分)

資源循環局各区収集事務所連絡先

区	電話	FAX	メールアドレス
鶴見	502-5383	502-5482	sj-tsurumij@city.yokohama.jp
神奈川	441-0871	441-5938	sj-kanagawaj@city.yokohama.jp
西	241-9773	251-1791	sj-nishij@city.yokohama.jp
中	621-6952	625-2932	sj-nakaj@city.yokohama.jp
南	741-3077	741-6492	sj-minamij@city.yokohama.jp
港南	832-0135	832-5204	sj-konanj@city.yokohama.jp
保土ヶ谷	742-3715	742-4931	sj-hodogayaj@city.yokohama.jp
旭	953-4811	953-6669	sj-asahij@city.yokohama.jp
磯子	761-5331	754-6109	sj-isogoj@city.yokohama.jp
金沢	781-3375	788-0269	sj-kanazawaj@city.yokohama.jp
港北	541-1220	541-1224	sj-kohokuj@city.yokohama.jp
緑	983-7611	982-7973	sj-midorij@city.yokohama.jp
青葉	975-0025	975-0028	sj-aobaj@city.yokohama.jp
都筑	941-7914	941-8409	sj-tsuzukij@city.yokohama.jp
戸塚	824-2580	824-2820	sj-totsukaj@city.yokohama.jp
栄	891-9200	893-7641	sj-sakaej@city.yokohama.jp
泉	803-5191	803-7951	sj-izumij@city.yokohama.jp
瀬谷	364-0561	391-4784	sj-seyaj@city.yokohama.jp

災害時のトイレ対策(16 ページ)・施設見学(17～20 ページ)に関する お問い合わせ・お申込み

各ページに記載のそれぞれのお問合せ先までご連絡ください。



環境学習(講座) 申込書

年 月 日

主催者名			
ご担当者名	フリガナ		
ご連絡先	電話		
	FAX		
	e-mail		
ご希望日時	第1希望	年 月 日 ()	: ~ :
	第2希望	年 月 日 ()	: ~ :
	第3希望	年 月 日 ()	: ~ :
参加人数	名程度		
主な参加者	「小学校4年生」や「町内会環境事業推進委員」など、どのような方の集まりかをご記入ください		
会場	所在地	市 区	
	施設名		
	電話		
その他			

講座テーマの選択

下記選択表の講座テーマの中から、ご希望のテーマに○を付けてください(複数選択可)。
 ご希望のテーマに関して、基本プログラムの講義を行います。

講座テーマ (ご希望のテーマに○を付けてください)			
食品ロス削減	プラスチック対策	ごみのゆくえ	ごみの分別・リサイクル

選択プログラムの講義希望など、詳細は後日のお打合せ時に伺います



その他	14ページ「その他ご案内可能な項目」の講義希望など、ご要望はこちらにご記入ください
-----	---

本申込書の到着後、講義の実施内容・方法について調整させていただきます。



横浜市資源循環局 環境学習プログラム

令和2年12月発行
令和4年6月改訂

横浜市資源循環局 3R推進課

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10 23階

電話：671-3593 / FAX：550-3510

sj-3rsuishin@city.yokohama.jp